

はじめに

本報告は、申請テーマ「大都市市街地空間におけるエスニック・ネットワークの生成過程」のオリジナル資料と解説部分です。1988 年を画期としたニューカマーズ外国人居住者の大都市市街地空間における新到着とセッヅルメント化、そして異文化の接触領域、受容と変容、異文化共存の可能性等をキーワードとする外国人居住者側からの新実態解明がディテールに果たされています。そこでは、エスニック・ネットワーク型の居住空間の生成過程がくっきりと刻印されていますが、同時に、一国システムの中核管理空間を主旋律とする、従来の「ワールド・シティ (World City)」の枠組みではなくて、「ワールド・シティ」の周辺領域にあって「文化、資本、エスニック・ネットワーク (Culture、Capital、Ethnic Networks)」が一国システムをこえてグローバルに結び合う「ワールド・タウン (World Town)」の相貌が 21 世紀システムにむけて構想されました。未だ「ワールド・タウン」テーマ化のほんの入り口ですが、私たちの 21 世紀都市像のシナリオは、次のようなものです。

「右肩上がりの都市成長・発展路線が失速したいま、グローバル化とローカル化のはざまにあって、複雑さをます地域と重層する都市の様相を、21 世紀にむけて読みとく」

- ・ 研究代表者 奥田 道大
- ・ 研究協力者 鈴木久美子
- ・ 現地面接調査実施者 中央大学文学部社会学奥田ゼミナール他

【先行する関連文献リスト】

- ・ 奥田道大・田嶋淳子編『池袋のアジア系外国人－社会学的実態報告』（めこん、1991 年）
- ・ 同上『新宿のアジア系外国人－社会学的実態報告』（めこん、1993 年）
- ・ 同上『新版・池袋のアジア系外国人－回路を閉じた日本型都市でなく』（明石書店、1996 年）
- ・ 奥田道大・広田康生・田嶋淳子『外国人居住者と日本の地域社会』（明石書店、1993 年）
- ・ 奥田道大編『コミュニティとエスニシティ』（講座『21 世紀の都市社会学』Ⅱ巻、勁草書房、1996 年）
- ・ 奥田道大『都市エスニシティの社会学－民族／文化／共生の意味を問う』（ミネルヴァ書房、1997 年）
- ・ 広田康生『エスニシティと都市』（有信堂、1997 年）
- ・ 田嶋淳子『世界都市・東京のアジア系移動者』（学文社、1998 年）